

# 各校区でコミュニティ活性化のための事業に取り組みました

平成26年度から、校区ごとのコミュニティ再生を図るための新たな交付金制度ができました。これは、意欲のある地域（校区単位）が自分たちで考えた「コミュニティの活性化のための事業」に対して、一定額の助成金が交付されるものです。ここでは、今年度実施した事業の一部を紹介します。

市民活動推進課 ☎ 65-1218 ☎ 65-1255

## 【新居浜校区】 観月会&一夜限りのキャンドルアート

地域の宝「新居浜市営野球場を使って地域が元気に！新居浜校区を盛り上げよう！」をテーマに、校区内の機運を高め、校区住民の親睦と交流を深めることを目的とし、日々の活動への感謝の気持ちを込めて、秋空のグラウンド内に、1万個のキャンドルを灯しました。

スーパームーンの秋空に、「新居浜まちゆり」と「ふくしまキッズ」へのメッセージが優しく炎を揺らす中、今治市消防団音楽隊の素晴らしい演奏に、会場に訪れた約3千人の皆さんに幻想的なひとときを楽しんでもらいました。

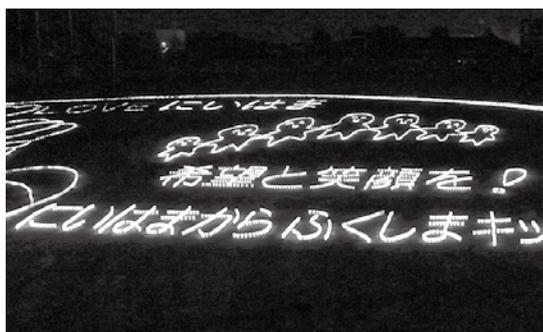
地域の人の一人一人の力が集まり、気持ちを一つにすることで、「何でもできる地域力」を実感することができました。

今後ともこの事業を継続し、たくさんの皆さんの記憶に残るイベントとなるよう取り組んでいきたいと思っております。  
(新居浜校区まちづくり推進委員会会長 青野久夫)



今治市消防団音楽隊による演奏

たくさんの参加者でにぎわうスタンド



ふくしまキッズへのメッセージ

## 【船木校区】 地域の防災力を高める事業 『全世帯への非常用持ち出し袋配布』

船木校区は、今回の「地域コミュニティ再生交付金」で、災害時の非常用持ち出し袋を購入し、2年間で校区全世帯に配布する予定にしており、今年度は全世帯の半分に当たる1千世帯に配布しました。船木校区は、自然災害に襲われる可能性の高い地域で、特に山崩れ、土石流災害については、台風が近づくとたびたび心配しています。

また、船木には池田池や田出原池があり、その池の堤防について、地震などの自然災害によるひび割れや決壊事故を防止するために地質調査や水位を下げる対策を実施しています。船木住民はこうした自然災害に備えて、非常用持ち出し袋を準備し、災害発生時に対応できる体制づくりを進めています。

そして、13の単位自治会で実施された防災訓練時には、配布した非常用持ち出し袋を避難場所に持って来て、みんなでも身の確認を行い、各家庭に不足している非常品を補充し、袋の中身を充実してもらおうようにしています。こうした取り組みで、船木校区の防災訓練は、延べ参加者1千250人となりました。今後も自然災害に対し、ハード、ソフト両面での防災対策に取り組んでまいります。

(船木校区連合自治会会長 星加勝一)



### ～自治会員の感想～

日頃、非常用持ち出し袋を準備しておかねばならないと思っていたのですが、たちまち必要な物でないだけに、つつい後回しにしていました。今回自治会から配布していただきましたので、早速中身を詰めました。  
(下池田自治会 鴻上和子さん)

【垣生校区】  
三世代交流事業

地域コミュニティ活性化事業交付金制度の新設を受け、校区で実施する事業に地域住民の参加意欲を高めるには何が必要かを主眼に、5月の校区運動会から翌年3月の地域文化財ウォークラリーまでの行事内容を精査しました。

その結果、運動会では未就学児から後期高齢者まで全世代参加に配慮することに加え、参加賞にも工夫を

したり、6月および9月の垣生山遊歩道草刈り清掃ボランティアでは、暑いさなかの作業のため、冷たい飲み物ぐらいは十分に準備す



遊歩道の草刈り清掃

るべきことなど、改善・工夫を凝らしながら事業を実施しました。

年末のイルミネーション点灯式では婦人会・社会体育振興会などの協力で、小学児童と共に餅つきを行い、手づくりの豚汁を30食余り振る舞うことができ、寒い中ではありましたが大変盛り上がりました。改めて、市の交付金のありがたみを感じました。

校区では、三世代交流事業と銘打った行事とは別に、花いっぱい運動、自主防災訓練、敬老行事などにも取り組んでいます。児童・



イルミネーション点灯式

生徒の参加を促すことにより保護者だけでなく、祖父母世代の参加も期待され、さらには幼少時からの経験が地域への愛着を育む一助となるものと思われま

す。高齢化が進む地域事情から地域活動の担い手減少は避けられませんが、公民館を核として地域諸団体と協力し、校区行事に参加する各世代の楽しみを増やすべく、地域コミュニティ活性化事業交付金の有効・適正利用に今後も務めていきたいと思

います。  
(垣生校区連合自治会会長 岡部淳二)



餅つき

✿校区で取り組む花いっぱい運動✿

私たちのまちが花でいっぱいになり、明るく・美しく・住みよいまちになるよう、各校区で、花いっぱい運動にも取り組みました。自治会だけでなく、小・中学校など、他団体とも協力しながら、今後ますます花いっぱい運動が広がって、地域コミュニティの活性化につながることを期待します。皆さんも一緒に参加しましょう。



大生院校区



金栄校区



垣生校区



泉川校区



船木校区

この他にも、今年度は全部で51事業を各校区で取り組みました。子どもから高齢者まで三世代が楽しめるようなイベントの他、災害を意識した防災対策、文化継承事業など、それぞれの地域の特徴も出ています。今後も継続して実施していくことで、地域のつながりも強まります。地域で計画して地域みんなで取り組みましょう！

# 第2回「地域の絆づくり運動」優秀作品

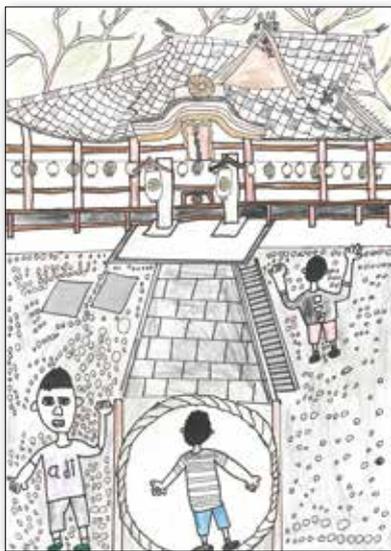
第2回「地域の絆づくり運動」には、絵画23点、作文26点の応募がありました。どの作品からも、子どもたちと地域の人との、温かいつながりが表現されており、あらためてコミュニティの大切さを考えさせられました。

その中から最優秀賞作品をご紹介します。応募していただいた皆さん、ありがとうございました。



小学生高学年絵画の部  
最優秀賞作品  
堀田暉斗さん（角野小6年）

【夏祭り】



小学生低学年絵画の部  
最優秀賞作品  
神野大樹さん（角野小2年）

【しぜんがいっぱい大好きすみの】



小学生高学年作文の部  
最優秀賞作品  
山中涼加さん  
（角野小6年）

## 【人とのつながり】

ピンポン。

「めずらしくないけど、きゅうりがいっぱいできたけん食べて。」と言って、近所のおばあさんが、ふくろにいっぱい、畑で育てている新鮮なきゅうりを持ってきてくれました。私は、おばあさんが畑の手入れをしている所をよく見かけます。いろいろな種類の野菜が、いつも元気に育っています。おばあさんの家の前を通った時、あいさつをするのと花の名前を教えてください、育て方を教えてくださいたりもします。趣味で作るお人形を見せてくれたり、折り紙を教えてくださいたり、私の知らないことをいっぱい知っている優しいおばあさんです。おばあさんには、お孫さんがいるので、小さいころからとてもかわいがってくれていると母から聞きました。

人達とかかわりを持って仲良くしていけたらいいと思います。また私達の地いきでは、五月と十月に子ども太鼓台のイベントがあります。私はこのイベントが大好きです。太鼓台にふれて、友達と楽しい時間を過ごせるからです。

しかし、楽しいイベントができるには、たくさんのおいしきの人がかかわっていることを知りました。私の父が、地いきのお世話をするようになつたからです。子ども達が安全に運行できるように、何か月も前から繰り返し話し合いがされます。太鼓台の組み立てや解体作業、その間にも梅雨の時期には、天気の良い日に太鼓の幕を干したりもします。楽しいイベントが無事にできるのもいろいろな地いきの人に支えられているからだと思いました。

これからも、私ができることとして、地いきの人達に、まず自分から積極的にあいさつをする、心のつながりを作りたいです。地いきの人とかかわりを深めていくために、イベントにも楽しく参加したいです。

自治会所有の防犯灯がLED化されました！

平成26年11月末で、市内に設置されている8千400灯の自治会所有の防犯灯が、LEDに更新されました。これは、自治会の負担軽減と安全安心なまちづくりの推進、環境への配慮を目的に、今年度、市がリース事業で実施したものです。

防犯灯は、これまで各自治会で設置し、維持・管理を行っていました。今後は、防犯灯を市が管理することで、単体自治会の費用負担を軽減し、軽減された分を新たな財源として自治会の活動費に利用してもらいます。

ただし、平成26年4月以降に新たに設置した防犯灯については、これまでどおり自治会で維持・管理をお願いします。ことになっていきます。

今回、更新されたLED防犯灯には、校区ごとに番号が付されています。不点灯や不具合が生じた場合は、市民活動推進課または稲見電気㈱へ連絡してください（左下連絡先参照）。連絡の際には、防犯灯に付されている番号をお伝えください。

なお、4月以降に自治会で新設した防犯灯およびLED化以前に、既に自治会でLED化していた防犯灯には番号はありません。その場合は設置場所をお伝えください。

新たにLED防犯灯を設置する場合は、自治会単位で申請した場合に限り、市の補助が適用されます。補助額は2分の1補助（上限1万5千円）です。ただし、その後の防犯灯の維持・管理は自治会でお願ひすることになります。電気代については市から補助があります。

予算に限りがありますので、新設要望がある自治会は、事前に市民活動推進課へご相談ください。

- 市民活動推進課 ☎ 65・1218
- 稲見電気㈱ ☎ 33・3339

「新しく防犯灯を設置したい場合は？」

多喜浜校区まちづくり意見交換会開催

住民主体の地域づくりを進めていくために、愛媛県と市が連携して取り組む、協働による地域づくり推進事業として、今年度、多喜浜校区をモデルに「まちづくり意見交換会」が行われました。

この意見交換会は、より良い地域づくりのために、みんなで話し合い、地域課題の解決に向けて住民自らが行う活動の企画や計画をつくり出すことを目的に開催されました。平成26年9月19日を1回目とし、その後3回開催された意見交換会には、地域住民を中心に、企業勤めの人や市民活動団体の関係者など、延べ220人が参加しました。

参加者は小グループに分かれ、自分たちが住むまちをより良いものにしていくため、それぞれのテーマでワークショップを行い、これからの活動や事業の計画などについて熱心に意見交換を行いました。



更新されたLED防犯灯



防犯灯に番号が付されています

**LED防犯灯は、従来の蛍光灯タイプに比べて長寿命です。**  
また、消費電力も少なく済むため、二酸化炭素の削減にも大きく貢献し、地球温暖化防止にも大きな役割を果たしています。



各グループが討議内容を発表



ワークショップ